

市民活動 サポートセンター通信

No.73

2022.7

今、安曇野の里山がアツい!!!

人里近くに広がる山地で、かつては燃料など、生活資源採取の場として人々の生活に密接していた「里山」。時代の流れの中で荒廃が進み、様々な課題を抱えています。そんな里山のフィールドや恵みを楽しみながら活かし、市民と行政と一緒に取り組む里山再生計画を推進するプロジェクトを「さとぷろ。」と呼んでいます。今回はその「さとぷろ。」から生まれた市民活動を紹介します。

里山の現状と課題

安曇野市は総面積 331.8 km²のうち、約 61%の 201.5 km²ほどを森林が占めています。森林のうち約半分の 106 km²は個人や地域などで所有する民有林であり、かつては人々の生活に密接して、人の手が入り、健全に管理されていました。

しかし、時代の変化の中で放置されることが多くなったことから荒廃が進み、土砂災害が起きやすくなったたり、居住地の近くが鳥獣の住処になって農作物被害や人へ危害を与えるなど、人々の安全な暮らしに多大な影響を及ぼしています。



「楽しい！」がキーワードの 「さとぷろ。」

「さとぷろ。」は、安曇野市が策定した安曇野市里山再生計画で目指す、里山再生に関する活動の総称です。市民、事業者、行政と一緒に考え、お互いの力を活かし、連携し合いながら里山活用に取り組み、「里山を楽しみ、活用することが里山の再生につながる仕組みづくり」を目指しています。

大切にしていることは「やりたい」という想いを実現していく場であるということ。そのために活動の立ち上げを支援し、多様な活動に繋げ、発展していくことを目指しています。

そんな「さとぷろ。」を通じてこれまでに数多くの市民活動が生まれています。

「さとぷろ。」が思い描く里山の未来像



「さとぷろ。学校」

里山で活動する楽しさを広めたい

「さとぷろ。学校」は、里山で活動するための基礎技術・知識を身に着け、里山を楽しむ活動の輪を広げる人材育成の場で、本年度7期目を迎えています。

現在リーダーを務める藤本さんは第3期の受講生で、修了後から運営に携わってきました。「さとぷろ。学校」では修了生や市職員を含むスタッフで講座内容を企画し、当日の運営を行っています。

藤本さんは、安曇野の自然の豊かさは里山が整備されているからこそ受けられる恩恵にもかかわらず、地元の人々の里山への関心が薄いことが課題と感じています。そのため、里山に関わる人々を増やしていくためにどんな講座が良いかを考え、企画しています。大切にしていることは、里山で活動する楽しさを知ってもらうということ。「『さとぷろ。学校』を通じて里山に関わる中で、自然発生的に出てくる『やりたい』『楽しい』を育てて、里山に関わる人々を増やしていきたい。」と力を込めます。



「さとぷろ。学校」リーダー
藤本さん

多様な活動の積み重ねにより、里山に関わる人が増え、里山が魅力となり、さらに関わる人が増える、そんな好循環をつくっていきたいです。



伐木方法のレクチャー

あづみの積木キャラバン隊

地元産木材を使う意識を

子どもたちに育てたい

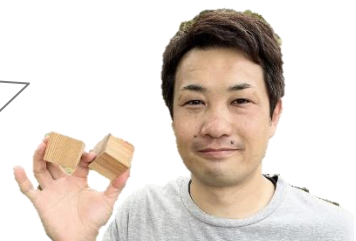
あづみの積木キャラバン隊は、里山の現状や自分との生活との関わりを考えるきっかけづくりとして、松枯れ材から作った積み木で遊ぶ出張ワークショップを行っています。これまで、市内認定

子ども園や図書館とコラボして開催するなど、活動の幅を広げています。

現在あづみの積木キャラバン隊の隊長を務める中村さんは、里山木材活用プロジェクトの仲間とともに、地元産木材の活用を模索してきました。その中で楽しみながら子どもも大人も参加したくなるワークショップをできないかと考え、「さとぷろ。」の一環として県の補助金を活用し、松枯れ材で1万個の積み木を作成。楽しみながら松枯れ材に触れるワークショップを始めました。活動を進める中で、市民ボランティアからなるあづみの積木キャラバン隊を結成。単に楽しむだけでなく、里山について学び、考えてもらうため、積み木の成り立ちを紹介する絵本や紙芝居も作成しました。

中村さんは「山に手を入れ木を切り出す」「木でモノを作る」「木を使う」の好循環をつくりたいと、地元木材の地産地消に向け、更なる活動の展開に心を躍らせています。

木材の地産地消を進めることで、環境負荷を抑え、地域経済の活性化にもつながります。子どもの頃から地元の木材を使うことを意識する機会を今後も提供していきたいです。



あづみの積木キャラバン隊
隊長 中村さん



絵本「くくじいとあかまつ」と松枯れ材で作った積み木



明科南認定子ども園での
積み木ワークショップ

ちくりんず

放置竹林の整備から新たなつながりへ

ちくりんずは今年の春に結成された団体で、放置竹林の整備や竹を使ったモノづくりのイベントを行います。

代表の堀江さんは、富山県出身。安曇野市へ移住後、「さとぼろ。学校」を受講し、放置竹林の課題について関心を高め、修了後、1年かけて「ちくりんず」を結成しました。明科押野山付近の竹林をフィールドに、月1回の竹林整備活動のほか、「竹馬が欲しい」と依頼のあった認定こども園に三角竹馬をプレゼントするなどの活動をしています。

竹は生命力が非常に強く、継続的に整備していかないと獣の住処となり、人里への獣害の温床となります。放置竹林の整備は苦労も多いですが、堀江さんは、「竹を切るには特別な工具もいらない。整備した竹は自由に使えるし、焼いた後の炭も使い放題だよ。」と語ります。まずは自ら楽しむことを大切にすること。これからの活動を語るその目は、やる気と希望に満ち溢れていました。

現在活動している明科押野山付近には、地域の認定こども園の園児たちが散歩に来るため、竹林を整備して散策コースを作って、園児がお弁当を食べたり、自然の中で遊べる環境づくりを進めたいです。



ちくりんず代表
堀江さん



竹をノコギリで伐採



伐採した竹を焼いて処分



伐倒講習会



木作家とコラボして
作成した木皿

あづみの樹楽会 (きらくかい)

人のつながりが新たな展開を生む

里山整備活動

あづみの樹楽会は、荒廃が進む明科天田神社周辺を中心に間伐や支障木の伐採などの整備を行い、桜の植樹や、切り倒した木材で薪づくりを行うほか、市民向けの伐倒講習会を開催するなど、里山再生に関わる様々な活動に取り組む団体です。活動を通して市民の里山再生への関心を高めて、里山に関わる人を増やしていくことを目標としています。

会の参加者同士でアイデアを出し合い、新たな活動が次々と展開されており、副代表の森岡さんは、「参加者同士、意見を自由に発言して、その上で皆が納得して活動が進むところにやりがいを感じる。」と語ります。

昨年度には、地域の木作家とコラボして地元木材を活用したボールペンや木皿等を作成し、ふるさと納税の返礼品として出品するなど、活動の展開を広げています。

今後、国営アルプスあづみの公園と連携し、里山整備の活動フィールドを広げることを計画しており、活動を広げることで生まれる新たな人のつながりを楽しみに、里山整備に取り組んでいきます。

里山再生につながる活動を楽しみ、色々な人たちとつながりながら活動を継続していきたいです。特に、発足当初からのフィールドである天田神社周辺での活動を継続し、地元の人も集える山にしていきたいです。



あづみの樹楽会副代表
森岡さん

情報コーナー

*新型コロナウイルスの感染状況によっては中止または縮小となる場合があります。
詳細はお問い合わせ先へご連絡ください。
*市民活動サポートセンターホームページでより詳しい情報を掲載しています。

おうちワークショップ **要申込**

爪の手入れについてお話を聞きながらハンドマッサージ。育児や家事などお疲れのママさんに癒やしの時間を提供します。

- ・日 時 8月6日(土)13:00~15:00まで 30分毎
- ・場 所 豊科南穂高 ※詳細は申込時
- ・参加費 500円
- ・その他 託児無料(保育士資格のあるスタッフが担当)
- ・問い合わせ おうちワークショップ 田中さん
(080-4440-9982)

オンラインで会議をしてみよう! Zoom 活用講座 **要申込**


実際にパソコンやスマホを使いながら、Zoom を使ってオンライン会議や配信をする際の手順やコツを学びます。

- ・日 時 8月21日(日)
- 【初歩編】9:00~10:00 Zoom を使ってみよう
- 【応用編】10:15~11:30 オンラインを主催してみよう
- ・場 所 安曇野市役所本庁舎 4階大会議室 ・参加費 無料
- ・申 込 メール、電話、Web サイトで申込(連絡先は最下部)
- ・問い合わせ 安曇野市市民活動サポートセンター(71-2494)

「多様な学びや生き方を応援して」

~学校に行かない、行けない子どもたちと共に~ **要申込**

不登校の子どもたちと多様な学びを实践されてきた講師のお話を伺い、何を大事に子どもと過ごすかを学びます。

- ・日 時 8月27日(土) 14:00~16:00
- ・場 所 碌山公園研成ホール
- ・講 師 竹内忍さん(元信濃むつみ高校教頭)
- ・参加費 無料
- ・申 込 8月10日までに Web サイトから→ 
- ・問い合わせ ひらく~あづみの不登校を考える親の会~(Facebook で検索)

不登校や病弱で学校へ行かれない生徒さんと

親御さんのための講演会 **要申込**

- ・日 時 9月3日(土)13:30~15:35
- ・場 所 豊科交流学習センターきぼう
- ・テーマ「不登校を考える」
- ・講 師 西森尚己さん(はぐルッポ代表)
- ・参加費 無料
- ・申 込 申込用紙に必要事項を記入し、FAX で↓
- ・問い合わせ 学習支援センター実帰舎(0263-57-6203)

明科うまいもん市

地域の賑わいと元気の創出のため、開催します。旬の野菜や果物、コーヒーやアイス、お菓子、パン、小物類、テイクアウトランチの販売を行います。(出店者も募集中)

- ・日 時 9月3日(土)9:00頃~正午頃 ※雨天中止
- ・場 所 明科公民館前の特設会場
- ・問い合わせ 明科いいまちつくろうかい!! 横田さん
(090-8700-4559)

ゆるつな9月 **要申込**

「地域を盛り上げたい!」「こんなことしたい!」「困り事を解決したい!」そんな思いを持つ人が気軽に集まり、ゆる~くつながる場。普段会わない人と出会って、話して、新しい仲間を見つけてみませんか。

- ・日 時 9月3日(土)9:30~正午 ※雨天中止
- ・場 所 明科公民館
- ・テーマ 明科を盛り上げたい!
- ・問い合わせ 安曇野市市民活動サポートセンター(71-2494)

市民活動フェスタ出展者募集

よりよいまちづくりや地域づくりに関わる皆さんの活動を楽しむ発信するイベントです。【募集対象】市内を活動範囲とし、公益的な活動・地域貢献活動を行っている人や団体、企業等

- ・日 時 10月23日(日)10:00~15:00
- ・場 所 穂高交流学習センターみらい
- ・募集内容 ①ブース出展②ステージ発表③パネル等展示
- ・募集期間 第1次受付:8月17日(水)まで
第2次受付:9月9日(金)まで
- ・問い合わせ 安曇野市市民活動サポートセンター(71-2494)

信州子どもカフェ運営支援助成

- ・助成対象 同一地区内で月1回以上開催される子どもカフェ
- ・助成内容 こどもカフェの活動に要する経費
- ・助成金額 最大 20万円
- ・助成期間 令和4年4月1日から令和5年2月28日まで
- ・募集期間 8月26日(金)まで
- ・提出先 管内の市町村社会福祉協議会
- ・問い合わせ 長野県社会福祉協議会(026-226-1882)

【発行】安曇野市市民活動サポートセンター

〒399-8281 安曇野市豊科 6000 安曇野市役所本庁舎2階 地域づくり課内
電話 0263-71-2013 時間 月曜日~金曜日 8:30~17:15
メール kururin@city.azumino.nagano.jp ※祝日/年末年始(12/29~1/3)除く

ホームページ



Facebook



Instagram



イベント情報をお寄せください

市民活動サポートセンター通信やホームページで、活動やイベントの広報をします。お気軽にご連絡ください。